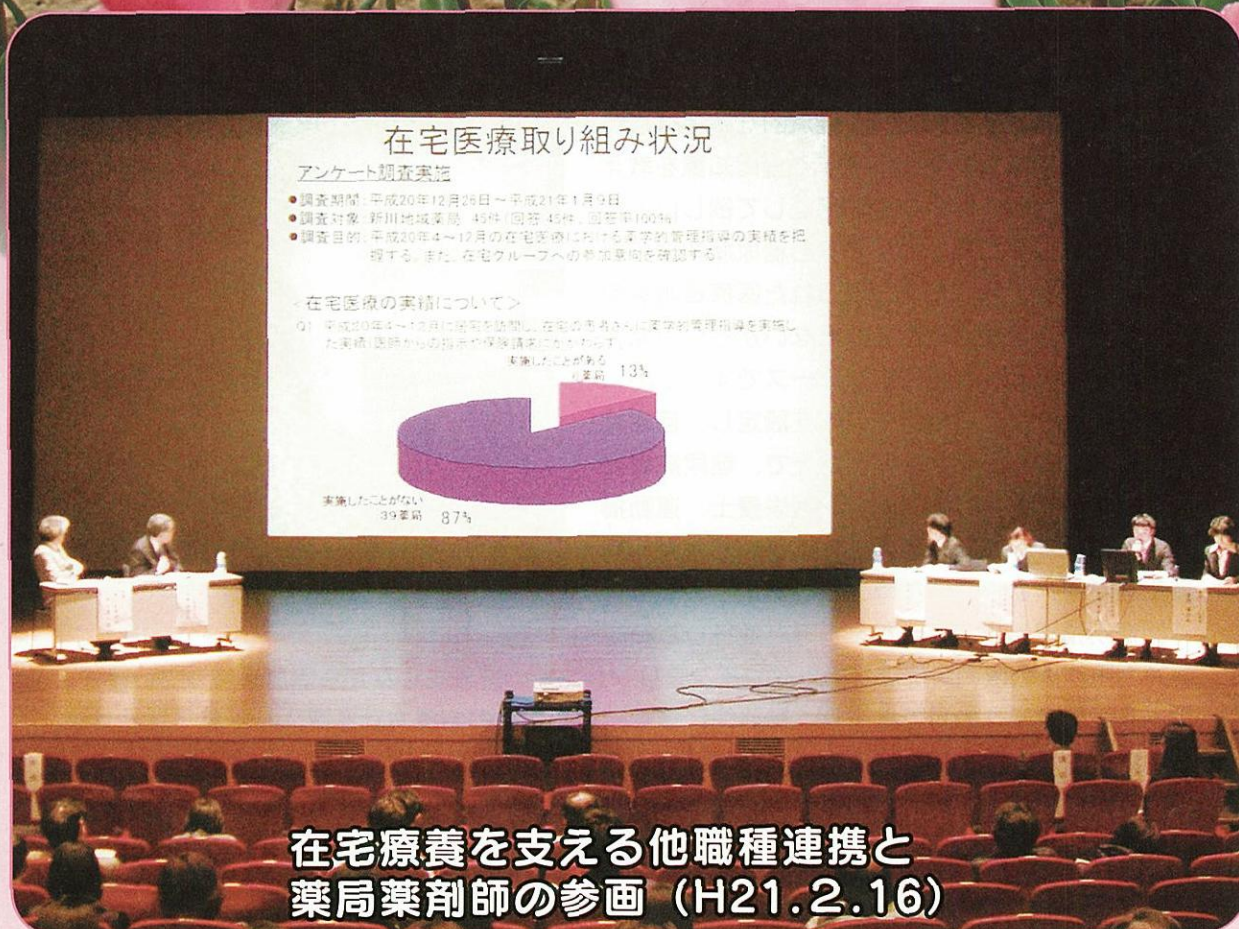


地域医療連携室

フレンディーだより

Community medicine cooperation room



2009

vol.30

H21. 3 発行

黒部市民病院 黒部市三日市1108-1

E-mail : friendly@med.kurobe.toyama.jp

糖尿病外来チェックコースのご案内

内科医師
吉澤 都

厚生労働省の2007年度の発表では「糖尿病が強く疑われる人」は約890万人、「糖尿病の可能性が否定できない人」は約1,320万人と推定され、今や全国民の5人に1人は糖尿病もしくはその予備軍という時代になりました。特に最近の5年で急激に増加しているのが特徴で、新川地区でも新規に糖尿病と診断される方が急増しており、特に30-40歳代の働き盛りの男性の発症が目立ちます。このような年代の方々には以前より入院加療をする時間的、経済的な余裕はないが、外来診療内で糖尿病に関する基礎知識を教えて欲しい、現在の合併症の評価をして欲しいという要望がありました。おしよせる糖尿病初発の患者さんに対し、当院がもつ限られた医療資源を使って効率よく糖尿病教育を行えないかという発想で作成したのが外来チェックコースです。このコースでは最初に患者自身が目標を設定し、目標達成のために何が必要かを考えた上で、糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師、管理栄養士、運動指導士が当院で作成したテキストに準じて糖尿病療養生活指導、食事療法指導、運動療法指導を合計4回個別指導します。また、指導と並行して糖尿病専門医が最低限の合併症チェックやインスリン分泌能の評価をしながら治療を行っています。コースは約3~4カ月で終了し、最終的に検査結果や今後の治療方針を記入した修了証を外来主治医がお渡しし、患者さん本人が血糖の経過や現在の病状を正確に把握することができるようにしています。2008年度は40の方が導入され、実に92.5%の方は血糖コントロールが改善（平均HbA1c 9.7%→7.5%）しました。これは2週間の入院加療に匹敵する教育効果で



あり、今後指導方法を工夫することにより、より多くの糖尿病患者さんに正しい知識を習得して頂けるものと期待しています。また、40名中15名（37.5%）は院外の先生方からのご紹介で、外来チェックコース終了後の診療は基本的には地域のかかりつけ医の先生方をお願いしています。糖尿病教育を希望される患者さんがおられましたら、内科外来へ早めにご紹介くださいますようお願いいたします。

乳腺外来のご案内



外科医師
岩田 啓子

当院では2008年4月より乳腺外来を開設し乳腺疾患の診療を行っています。受診については当日に乳腺超音波検査・マンモグラフィ撮影を行うため、完全予約制とさせていただきます。予約可能日が患者様の希望と折り合わない場合もあるかもしれませんが、紹介患者についてはなるべく早く診療できるように当科としても努力しております。フレンドリーを通しての予約にご協力くださいますようお願いいたします。ただし、乳腺炎等、緊急を要する疾患に関してはこの限りではありません。

また、乳腺疾患については外科ではなく乳腺外来まで紹介いただきますようお願いいたします。

さくらの会

～乳がんの方々の集い～

同じ病気を持つ方と色々な話をする座談会や勉強会・レクリエーションを行っています。

- 平成20年8月29日 勉強会「乳がんってどんな病気？」
- 10月10日 勉強会「リンパ浮腫を防ごう！」
- 12月12日 プリザーブドフラワー作り
- 平成21年3月13日 勉強会「乳がん術後のリハビリについて」

※ 平成21年度の開催予定日は未定ですが、定期的に開催する予定です。

- ★ 興味のある方、是非ご参加ください！
- ★ 他院や家族の方の参加も可能です
- ★ 補正下着等の展示もあります

〈申し込み・問い合わせ先〉
外科外来、通院治療室、がん相談支援センター
黒部市民病院 緩和ケア委員会 電話54-2211

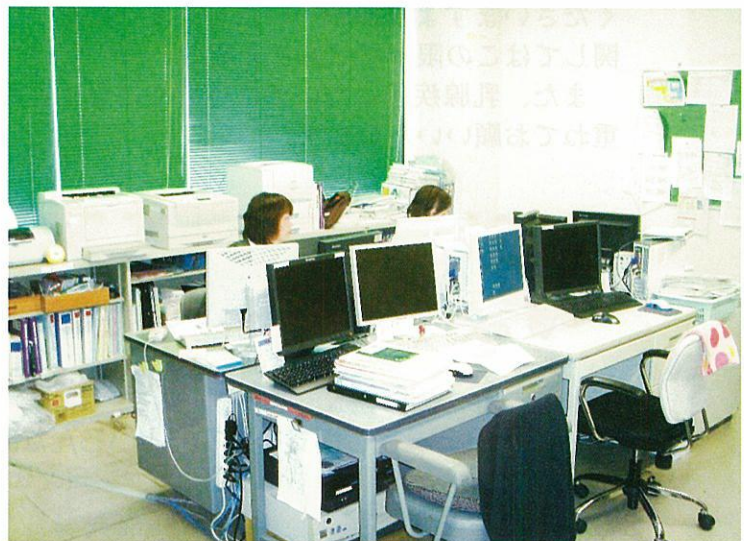
診療科紹介

診療情報管理室



以前はカルテ管理室や病歴管理室などと呼ばれていた「診療情報管理室」は、2002年4月より診療記録（カルテ）や診療情報を適切に管理、提供するための部署として業務を開始しました。

現在は「医療情報部 診療情報管理室」として診療情報管理室長（副院長）以下、室長補佐（医師・兼務）2名、診療情報管理士2名、事務員3名で業務を行っています。



当院は2003年に電子カルテシステムを導入し、コンピューター管理のもとで診療情報を登録・保管しています。

医療のIT化により診療情報は、患者の診療支援をはじめ医学研究および病院の運営管理など、貴重な医療情報として活用されています。

診療情報管理室の主な業務は、年間8,000名以上の退院患者の診療に関する情報の管理・整理であり、診療情報管理士という専門の資格を持った職員が中心となって診療記録を扱い管理することにより診療のサポート的役割を担っています。

診療情報の管理は、退院患者の診療記録に不備がないかをチェックし、疾病や手術や必要な情報を登録することによりデータベース化し、必要に応じていつでも使えるように整理し保管します。

そして、その情報をもとに更に分析して統計資料を作成したりします。

また、医師や看護師などの求めに応じて患者の診療記録を検索し情報提供したりします。

特に重要な業務として「コーディング」があります。

これは医師が診断し決定した病名や手術を国際疾病分類（ICD）にそってコード化して登録するもので、医療統計や様々な分析のために不可欠な情報となり、また、そのデータを活用することにより当院の円滑な運用にも役立たせています。

その他、電子カルテ以前の記録が記載されている紙の診療録の貸し出しや保管に関する業務、医療画像情報の検索・提供、がん登録業務、DPC調査に関する業務、なども行っています。

もちろん、情報を預かる部署として守秘義務や個人情報保護法を遵守し、適正な個人情報の取り扱いに努め、診療記録や情報の慎重かつ丁寧な扱いを常に心がけて業務を行っています。

診療情報の電子化が急激に進み、その管理や運用方法は大きく変化し続けています。

専門的な医学知識から情報処理、ICTまで幅広い知識とスキル、そして多くの専門資格も必要となる部署ですが、それだけに今後の医療の現場で担う役割も大きく、当院の診療の質の向上に貢献するのだという自覚と誇りをもって日々努力を続けています。



五葉会 冬場の運動不足解消企画

2月24日（火）、社会保険高岡病院健康運動指導士 和田千恵子先生を講師に迎え、『楽しく笑って生き生き実践法』と題し、いつでも簡単に出来る運動を指導していただきました。



糖尿病で長生きの10カ条

1. 症状がなくても月1回検査を受ける
2. 食事療法を守る（野菜多く、脂肪少なく）
3. 運動すること（足が丈夫）
4. 禁煙すること
5. 体重を測ること
6. 足を毎日チェックすること
7. 笑顔



ー以下元気ポイントー

8. 社会参加が活発である
9. 短期の記憶力が良い
10. 自分は健康だと思っている



講演・勉強会のご案内

1. 新川胸部疾患検討会

日時：毎月第2木曜日
午後6：30～
午後8：00
場所：本館3階 指導室

2. オープンベッドカンファレンス

日時：偶数月の第2水曜日
午後6：45～
午後7：45
場所：本館3階 指導室

3. 内科カンファレンス

日時：毎週火曜日
午後6：40～
場所：本館3階 指導室